

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月22日			記入者	内線 5676
部 名	保健所	課 名	中央保健センター	課長名	鈴木豊子
事務事業名	がん集団検診事業				
予算上の事務事業名	がん集団検診事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			12220	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第2節 市民健康づくりの推進				事業開始年度
施 策 名	第2施策 保健サービスの充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（厚生労働省） 相模原市（胃・大腸・子宮・乳・肺）がん集団検診実施要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市高齢者保健福祉計画（第2期）		中高年期に多く発生するがん、心臓病、脳卒中などの生活習慣病等の疾病を予防するために、健康診査の充実を図る。		
計画年次	15	年度～	19	年度	
4 事業形態の区分 サービス提供 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）	
がんの早期発見、早期治療を目的に、疾病の疑いのあるもの又は危険因子を持つものをスクリーニングする。				40歳以上の市民（子宮がん検診は30歳以上の女性）	
(3) 平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
市内の公共施設（19施設）を会場に、検診車を中心とした集団検診を46回実施した。					
受診者数 胃がん：4,071人 子宮がん：4,221人 乳がん：3,963人 肺がん：3,928人 大腸がん：3,615人					
6 関連・類似事業や他市の状況					
ほとんどの市においても、検診車を中心とした集団検診を実施している。ただし、本市は他市に比べ会場数が多い。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	53,148	56,017	53,152	62,623	87,672
一般財源	53,148	56,017	53,152	62,623	87,672
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	4,414	4,401	4,401	4,401	5,470
事業コスト合計(a)	57,562	60,418	57,553	67,024	93,142
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）					
主たる事業名	がん集団検診事業			対象名称(単位)	受診者数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	57,562	60,418	57,553	67,024	93,142
対象数	19,554	20,381	19,798	20,430	26,000
単位あたり経費(円)	2,944	2,964	2,907	3,281	3,582
前年度比		1.01	0.98	1.13	1.09

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	受診人数(人)		指標式と指標の説明	受診者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	19,554.0	20,381.0	19,798.0			
目標	24,000.0	24,000.0	24,000.0	22,080.0	24,000.0	
目標達成度	0.81	0.85	0.82			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	がん発見率(%)		指標式と指標の説明	$(\text{がん確定者数}/\text{がん検診受診者数}) \times 100$		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	0.1	0.1	0.1			
目標	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
目標達成度	100.0	63.6	86.4			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[	] : 良好な状態を維持する事業				
	[	] : 概ね良好な状況である事業				
	[	] : 見直しを行う必要がある事業				
	[	] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		がん対策として、検診での早期発見、早期治療が必要不可欠である。検診の方法や頻度、種類や精度管理について等検討事項は多くあるが行政として実施していく必要のある事業である。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
基本的に5種類のがん検診を同日に受診できるというメリットを、中央保健センターが実施する事業開催時などに更にアピールし、受診率を向上させることによりがん発見率を高める。			乳がん検診については、乳房エックス線撮影検査を導入したことにより、検査時間の関係から受診者数が限られてしまったため、その拡充を図ること。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				